

---

明窓十句

---

今瀬剛一選

頭重たく鶏頭は日を弾く	岡崎	桂子
黄昏や棘まで赤き冬薔薇	岸	三恵
走れ走れ涙は花野風に散り	伊藤	美津子
秋の蚊のあやかしにあひ無念なり	大野	順子
賑やかに活けし野の花良夜なり	押尾	弘子
白萩の花散らしつつ括らるる	穴澤	則子
さやうならと紙芝居閉ぢ冬夕焼	高橋	伸
鳥山の 大移動して 鱗雲	小泉	敬治
北と西よりの合流水澄めり	小野瀬	まこと
大楠の踏ん張る大地秋さやか	波羅	栄子